

## テーマ『誰が平和を守るのか』

森 重昭 (もり・しげあき)

第一次世界大戦で多くの人命が失われました。それゆえ、戦争が二度と起こらないように国際連盟ができました。個々の国家の上に立って、世界にも一つの法と秩序を与えなければならないという考え方に基づいて作られたものです。しかし、これは失敗しました。引き続いて第二次世界大戦が起こったからです。

戦争はやってはならない。今度は国際連合が成立しました。ニューヨークにある国連はロックフェラーがニューヨーク市とともに寄付した土地です。元は屠殺場でした。生物を殺すのではなく、生かせる設備を作る場所として寄付したのです。長崎の平和公園は元刑務所です。沢山の人が処刑された所です。

被爆後、ここは平和公園になりました。広島平和公園は、被爆前は広島では最大の繁華街でした。そこに原爆が落ち、街は壊滅しました。平和公園の南にある原爆資料館の本館、ここは元浄円寺という寺の墓所です。隣の国際会議場は妙法寺という寺の墓所でした。両寺共、墓地は取り壊され、平和を考える建物に生まれ変わりました。

私は G7 の首脳にお願いしたい。平和公園をオバマ大統領と同じように歩いてください。原爆資料館の本館の真中に行き、北を見てください。原爆慰霊碑が見えるでしょう。その向こうに原爆ドームが見えるはずですが、そこまで歩いて行き、慰霊碑の前の階段を一步一步上ってください。平和の火がはっきり見えてきます。

丹下健三はそれが見えるよう計算して設計したのです。慰霊碑の形はアメリカが最初に核実験をしたキノコ雲の形です。ノグチ・イサムが発案しました。私は 500 年前の『エラスムスの平和の訴え』、250 年前の『カントの永遠平和のために』を読みました。平和を実現するのは難しい、と実感しました。平和は一人ではできません。全員で達成しましょう。